

幼稚園だより

令和8年6月1日

6月号

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

夏の暑さに負けない体づくり

主任教諭 高瀬 杏子

暑い日が少しずつ増えてきました。6月は体がまだ暑さに慣れておらず、「暑熱順化」ができていないため、熱中症のリスクが高まる時期といわれています。東京都こどもセーフティプロジェクトによると、子供は大人よりも体重に比べて身体の表面積が広いことから、気温の影響を受けやすく、また、身長が低い分、地面からの照り返しの影響を強く受けると示されています。それらのことから、気温が32度の時、子供が感じている温度は35度といわれており、大人が体感しているよりも、高い気温の中で子供は過ごしているということが分かります。体温調節が未熟で、大人に比べて自分の体調を言葉で十分に伝えられない子供たちには、大人による様々なケアが必要です。本園では、こまめな水分補給、帽子の着用、衣服の調節などの他、預かり教育では休息も大切にして過ごしています。

さて、先日本園では衣替えを行いました。「衣替え」と聞いて、「衣」が「衣服全般」のことだと分かる子は少ない様子でしたが、季節の移り変わりや気温の上昇を肌感覚を通して感じ、長袖の園服と厚手の園帽子が不要であることに気付いた様子が見られました。今月はプール開きもあり、水に触れて遊ぶ心地よさを味わう機会や着替えの必要性も多くなります。一人一人の「生活に必要なことに気付く」という姿を各学年の実態に応じながら生活や遊びを通して引き出し、夏の暑さに負けない丈夫な体づくりをしていきます。

6月の保育のねらい



- 《3歳児 ひよこ組》
 - ・好きな遊びを見つけて、教師や友達と十分に楽しむ。
 - ・簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。
- 《4歳児 こあら組》
 - ・自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・プールの約束を知り、いろいろな水遊びを楽しむ。
- 《5歳児 いるか組》
 - ・学級の友達と一緒に、めあてに向かって考えたり、工夫したりすることを楽しむ。
 - ・梅雨期の自然や気候の変化に気付き、生活や遊びに取り入れることを楽しむ。